カリフォルニアの母と息子が逮捕された500万ドルの住宅ローン条件変更詐欺を操作するため

ニューヨーク南部地区の米国代理弁護士であるオードリー・ストラウスと、米国郵便監察局（「USPIS」）のニューヨーク事務所の担当検査官であるフィリップ・R・バートレットは、EVACHRISTINERODRIGUEZを発表しました。カリフォルニア州オレンジカウンティの母と息子であるSERGIOLORENZO RODRIGUEZは、数千人の経済的に困窮している住宅所有者から500万ドル以上の禁止された前払い金を受け取った詐欺的差し押さえ救助計画に関連して、振り込め詐欺罪で逮捕され起訴されました。

マンハッタンの米連邦検事代理オードリー・ストラウスは、次のように述べています。彼らは、カリフォルニアの連邦裁判所によって債務救済業界から締め出された後も、そうし続けたと言われています。彼らは今、深刻な刑事告発に直面しています。」

USPISの担当検査官PhilipR。Bartlettは、次のように述べています。「ローン変更詐欺は、家を失うことに直面している非常に絶望的な住宅所有者を標的とした残酷な詐欺です。ローンの変更は命綱のように見えるかもしれませんが、これらの詐欺はしばしば悪夢になります。これは、エヴァとセルヒオロドリゲスと取引をした犠牲者に起こったことであると言われています。郵便監察官は、消費者を標的とした詐欺詐欺に警戒を怠らず、世界中で詐欺師を裁判にかけています。」

マンハッタン連邦裁判所で本日開封された苦情[1]によると：

2014年3月頃から2018年4月まで、EVACHRISTINERODRIGUEZとSERGIOLORENZO RODRIGUEZ（「被告」）は一連の住宅ローン条件変更会社を所有および/または管理しました。または、欺瞞的なマーケティング慣行による差し押さえの差し迫ったリスクにさらされていた。それらの会社は、National Servicing Center、American Home Servicing Center、National Advocacy Center、National Advocacy Group、およびCapital Home Advocacy Center（総称して「会社」）でした。とりわけ、被告は、住宅ローンの条件変更について貸し手またはサービサーによって事前に承認されたと信じ込ませることにより、絶望的な住宅所有者に禁止された前払い料金で数千ドルを請求しました。禁止されている前払い料金を、閉鎖費用またはその他の禁止されていない費用として誤って表明した。住宅ローンの変更で両社が95％以上の成功率を達成したと不正に主張した。そして、リスクのない返金保証の空の約束をしました。故意の不実表示、および部下に行うように勧めた不実表示の結果として、被告は、数千の住宅所有者に、最終的には多数の消費者を含む、会社に禁止された前払い料金の合計500万ドル以上を支払うように促しました。住宅ローンの変更を拒否された、または前払い料金を支払ったときに予想されていたよりも不利な変更提案を受け取った人。

2018年2月、連邦取引委員会は、カリフォルニア州サンタアナの連邦裁判所で、EVACHRISTINERODRIGUEZおよびSERGIOLORENZORODRIGUEZなどに対する民事訴訟を提起しました。その民事訴訟は、最初に一時的な差し止め命令をもたらし、次に、EVACHRISTINERODRIGUEZとSERGIOLORENZORODRIGUEZがすべての債務救済製品およびサービスを販売および販売することを禁じる恒久的な差し止め命令をもたらしました。訴状で主張されているように、被告は、親戚に1st Premier Asset Solutionsという名前の別の住宅ローン変更会社を設立させることにより、これらの司法命令を無視しました。これは、被告がエイリアスと同じ欺瞞行為のいくつかを使用して運営していました。

* * *

カリフォルニア州ラグーナヒルズのEVACHRISTINE RODRIGUEZ（65歳）とカリフォルニア州ラグナニゲルのSERGIO LORENZO LAWRENCE（46歳）はそれぞれ、振り込め詐欺を犯した陰謀の1件と振り込め詐欺の1件の罪で起訴されています。各カウントには、最大20年の懲役と、最大250,000ドル、または犯罪による総利益または損失の2倍の罰金が科せられます。この場合の最大の可能性のある判決は議会によって規定されており、被告の判決は裁判官によって決定されるため、ここでは情報提供のみを目的として提供されています。

シュトラウス氏は、USPISの調査作業を称賛し、連邦取引委員会と地域5の米国管財人の支援に感謝しました。

このケースは、Complex Frauds and CybercrimeUnitによって処理されています。検察は、米連邦検事補のサラ・ライ氏が担当している。

訴状に含まれる告発は単なる告発であり、有罪が証明されない限り、被告は無罪と推定されます。

[1]導入句が示すように、本書に記載されている苦情のテキスト全体および苦情の説明は、申し立てのみを構成し、説明されているすべての事実は申し立てとして扱われる必要があります。

PROVIDENT TITLE COMPANY

Source:
https://www.justice.gov/usao-sdny/pr/california-mother-and-son-arrested-operating-5-million-mortgage-modification-fraud